

地理B

(017教出・地B006・新 地理B 世界をみつめる)

担当:池田 正夫 レポート提出回数 12 単位数 4

必要面接時数 4

1. 学習の到達目標と取り組み

目標	現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。
目標に向けての具体的な取り組み	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に考察することができるように、地図や統計、画像など身近な地域に関する諸資料を有効に活用して実施する。

2. 年間学習計画と評価方法

月	内容のまとめ(編・章)	主な学習目標と学習活動	単元・題材	レポート		スクーリング	Aテスト日と範囲	評価方法
				回数	期限			
4月	<第1編> 第1章 自然環境の地理	世界の地形、気候、植生などから系統地理的にとらえる視点や方法を学習するのに適切な事例を幾つか取り上げ、世界の自然環境を大観する。	1 自然と人間 2 世界の地形	No.1	4/28	5/3	第1回 7/19	レポート No.1~4 教科書 p10-110
5月	第2章 資源・産業の地理	世界の資源・エネルギーや農業、工業、流通などから系統地理的にとらえる視点や方法を学習し、世界の資源、産業を大観する。	3 世界の気候・植生 4 地球上の水とその利用	No.2	5/8			
6月	第3章 生活文化の地理 第4章 都市と村落の地理	世界の都市・村落や消費、余暇に関する行動、人々の衣食住などから系統地理的にとらえる視点や方法を学習するのに適切な事例を幾つか取り上げ、世界の都市・村落、生活文化を大観する。	1 経済活動と地理 2 生産活動の地理 3 流通の地理	No.3	5/27			
7月	<第2編> 第1章 生活の場としての地域	直接的に調査できる地域の特色を多面的・多角的に調査して、日常生活圏、行動圏である市町村規模の地域を地誌的にとらえる視点や方法を身に付ける。	1 消費の地理 2 様々な衣食住文化と人々の生活様式	No.4	6/18	6/7	第2回 11/1	教科書 p112-179
8月	第2章 国としてとらえる地誌	国家の地域性を多面的・多角的に考察して、比較し関連付けることを通じて国家規模の地域を地誌的にとらえる視点や方法を身に付ける。	1 地域の学ぶために 2 水俣市を調査する 3 鯖江市を調査する	No.5	7/22	7/5		
9月	第3章 州・大陸としてとらえる地誌	世界の州・大陸を事例として、比較し関連付けることを通じて州・大陸規模の地域を地誌的にとらえる視点や方法を身に付ける。	1 世界の国々を大観する 2 アメリカ合衆国 3 ペルー 4 インド	No.6	8/12	8/9 8/23	第3回 2/21	レポート No.5~8 教科書 p112-179
10月	第4章 日本と身近な国々との関わり	近隣諸国の生活・文化を地域の環境条件と関連付けて追究し、近隣諸国との交流の在り方や日本の役割などについて考察する。	1 大陸と文化 2 ヨーロッパ 3 アフリカ 4 オセアニア	No.7	9/9	10/18		
11月	第5章 環境エネルギー問題を通じて世界をみる	環境、エネルギー問題を世界的視野から地域性を踏まえて追究し、その解決には地域性を踏まえた国際協力が必要であることなどについて考察する。	1 大陸と文化 2 ヨーロッパ 3 アフリカ 4 オセアニア	No.8	10/7	11/15	第3回 2/21	レポート No.9~ 12 教科書 p180-291
12月	<第3編> 第1章 地図で観る世界の課題 第2章 様々な視点から地域を分ける 第3章 世界の様々な結びつき	世界各地に生起している地球的課題に関する諸事象を地図化して追求し、それに関する技能を身に付ける。 世界各地に生起している地球的課題に関する諸事象を分布などに着目し地域区分して追及し、地域区分することの有用性に気づき、それに関する技能を身に付ける。 現代世界の国家群や貿易、交通・通信などの現状と課題を地域の環境条件と関連付けて追究し、国家間の結びつきを地理的に考察することの意義に気付く。		No.9	11/4	11/15		
1月	第4章 日本と身近な国々との関わり 第5章 環境エネルギー問題を通じて世界をみる	近隣諸国の生活・文化を地域の環境条件と関連付けて追究し、近隣諸国との交流の在り方や日本の役割などについて考察する。		No.10	12/9	12/20	第3回 2/21	レポート No.9~ 12 教科書 p180-291
2月	第6章 人口・食糧問題を 通じて世界を みる 第7章 民族・領土問題 から地域を みる まとめ	人口、食糧問題を世界的視野から地域性を踏まえて追究し、それらは地球的課題であるとともに各地域によって現れ方が異なっていることを理解する。 居住、都市問題の解決には地域性を踏まえた国際協力が効果的であることなどについて考察する。		No.11	1/7			
				No.12	2/10	2/14		

3. 評価の観点

評価の観点	観点の内容
関心・意欲・態度	地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求しようとしている。
思考・判断	地理的事象から課題を見つけ、系統地理的、地誌的に考察するとともに国際社会の変化を踏まえ公正な判断ができる。
資料活用の技能・表現	地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通じて地理的事象を追求する技能を身につけるとともに、追及した過程や結果を適切に表現する。
知識・理解	地理的事象についての基本的な事柄や追求の方法を理解し、その知識を身につけている。